

12月10日開催

(仮称) 南校の取組状況と今後に向けた報告会における質問と回答

【義務教育学校について】

No.	質問	回答
1	どういった経過で義務教育学校にすることになったのですか。	庄内地域の学校の小規模化が進行している状況から学校再編をすることとなりました。中学校入学時に学習環境の変化に対応できず不登校になる子どもたちがいることから、小学校と中学校の学習環境をなめらかにするため、新たな学校種である義務教育学校とすることとなりました。

【学校運営について】

No.	質問	回答
2	卒業式・入学式がなくなるのはなぜですか。	義務教育学校は、9年間を一貫した教育課程を実施する学校であるため、入学は1年生のとき、卒業は9年生のときのみとなります。したがって、これまでの小学校での卒業式、中学校での入学式はなくなることとなります。しかし、学校現場においても、卒業式、入学式に代わるステージ修了式のあり方について検討をいただいております。
3	卒業証書はなくなるとのことですが、小学校、中学校の卒業証明は可能ですか。	小学校における卒業式と卒業証書はなくなりますが、転校や私学進学などには対応しなければなりません。教育課程の上では、前期課程（小学校）、後期課程（中学校）は保持されますので、卒業証書に代わる証明等の対応は不可欠となります。
4	集団登校などで育まれる最終学年としての6年生のリーダーというものが失われ、責任感をもたない子どもになってしまうのではないかと心配しています。	責任感を育む仕組みは大事だと思います。義務教育学校では他学年交流が、子どもたちに良い影響があると先進校での事例も伺っていますので、教員ともよく相談しながら対応させていただきます。また、開校前後の過渡期についても検討します。なお、集団登校については、保護者のご協力のもと実施しています。現在、集団登校を実施している学校と実施していない学校があるため、今後、通学路の検討をしていく中で、集団登校をするかどうかについて、保護者の方々と検討させていただきたいと思います。
5	学校評議会と学校運営協議会は何が違うのでしょうか。団体の参加はできませんか？	学校長の求めに応じて学校運営について意見を伺うのが学校評議会でしたが、「地域とともにある学校づくり」を進めていくため、これまで以上に、地域の方々が学校運営に関わっていただくための仕組みとして、学校と協議をさせていただくために構成するのが学校運営協議会となります。団体の参加について特にルールはありません。学校に協力をいただける方々は地域によっても異なるため、これから意見を伺いながらコーディネーターとさせていただく方も含め決めていければと考えております。

【説明会について】

No.	質問	回答
6	地区ごとの個別の説明会は開催していきますか。	(仮称) 南校に関する説明は、全体での開催を考えております。通学路検討の初期段階については、各小学校での開催を考えております。

【通学路について】

No.	質問	回答
7	庄本町界隈は千成小学校まで遠く、阪急神戸線のアンダーパスを超えなければならないため、登下校の安全安心が懸念されます。	庄内西小学校界隈の方々から、バスによる通学を可能にしてほしいとの要望をいただいています。そちらもふまえながら、通学路の検討をまいります。
8	通学路を想定して歩いてみたら大人でも30分かかりました。1年生なら40分以上かかるでしょう。ランドセルも4~5キロなので、大人にしたら20~30キロの荷物をもっていくようなものです。遠い・重い理由で不登校になるようなことがないようお願いします。また、通学路の要所に防犯カメラをお願いします。警察の姿があると抑止効果になるのではないのでしょうか。可能であれば1、2年生はバスが良いです。	通学路やバスについてはNo.7と同様。防犯カメラや注意喚起のあり方については、通学路検討の中で都市基盤部、市危機管理課、豊中南警察署の方とも意見交換をしながら対応させてください。

【学校跡地について】

No.	質問	回答
9	小中一貫校は、課題はありますが、地域活性化につながるように頑張してほしい。光の部分と影の部分があると思いますが、庄内西は陰になるのではないかと心配しています。豊中市との合併の経緯もあるため、跡地は地元に戻してほしいです。	本日は(仮称)南校の現状と今後のすすめ方について開催しましたが、今後、地域コミュニティのあり方や学校跡地利用については、担当部局より同様の情報提供や意見交換の場を設けるように考えております。

【設計建設について】

No.	質問	回答
10	千成小学校の土壌汚染対策についてはしっかりと説明してほしいです。	令和3年4月に実施した土壌調査の結果、六価クロム、フッ素化合物、鉛が検出されております。また、校舎外壁からアスベストが検出しています。現状において、飛散等の恐れはない状況ですが、解体工事や新築工事においては、様々な養生や対策が必要と考えております。現在、担当部局と事業者の方において、検討をさせていただいておりますので、工事を実施する前には、必ず情報提供をさせていただきます。
11	この地域の住民を今後どれくらい増やしていけるのか期待したいです。土壌汚染があると聞いていますが、現状と今後の見通しを教えて欲しいです。浸水対策が必要かと思いますが、こういった工夫をしていますか。	土壌汚染については、No.10と同様。 浸水対策については、大アリーナと小アリーナを2階に配置することで対応していく予定です。
12	グラウンドが狭くないでしょうか。また、夜間照明はつきますか。北側のスロープ部分は歩道にした方が、歩道が広くなるのではないのでしょうか。	約10,000㎡前後になる予定ですが、テニスコートを屋上に配置していることから大きい方とはいえません。また、夜間照明は第七中学校にあるため、用意しておりますが、北側の住民の方々の意見も伺ったうえで、最終決定してまいりたいと考えております。
13	色々なスポーツができるグラウンドの広さがほしいです。多学年使用による事故も懸念されます。また、この地域は浸水があると、学校に集中して集まるため、災害時の電気・太陽光発電を増やしてほしいです。	浸水対策についてはNo.11と同様。 グラウンドの広さについては、校舎配置と合わせなるべく大ききとの要望を担当部局にしております。他学年の使用については、運動場、大アリーナ、小アリーナの3か所で体育を設定し調整をしております。電気・太陽光発電については、ZEB化（ネットゼロエネルギービルディングの略称）を前提にソーラーパネルが屋上に配置されています。また、大きな容量ではありませんが、発電設備も装備する予定です。
14	小学生中学生の体格差による階段の傾斜角度はどう考えていますか。	建築基準法という法律において、小学校と中学校の規格は同じですが、設計者に確認をさせていただき、実施設計段階でお知らせさせていただきます。 【規格についての発言を修正します。建築基準法では階段の踏面（ふみずら）は小学校と中学校で同じ（26cm以上）ですが、けあげについては小学校では16cm以下、中学校では18cm以下となっております。申し訳ありません。】
15	ランチルーム、菜園の使用する想定を教えてください。	ランチルームは食育のためのスペースです。自校調理となり、栄養教諭の配置も予定されているため、詳細は栄養教諭を中心に検討していただくものと考えております。また、菜園の場所や運用方法、子ども食堂の実施なども含め、現時点で詳細な検討はまだしていません。